

# みまた新聞

No. 2

昭和38年

8月20日

発行 三股町

編集 総務課

## 町の人口

8月1日現在

人口 14,805人

男 7,056人

女 7,733人

世帯数 3,573戸

面積109.85平方軒



## 八月

(とじると便利です)

八月は私達にとって忘れられない月である。

あのいまわしい原子爆弾の投下、惨劇、そして終戦、以来時は流れて早や一八年悲劇はほんとうにあったのだろうか。平和ムードの昨今まさに隔世の感がいたします。

さてこよみの上ではすでに立秋の声を聞くころ、朝顔百日草などの咲くうちに朝晩ふっと秋の気配を感じることもあります。しかし暑さは依然として続いております。強い太陽と緑、若者は山や海へ、子供は水に親

しむ候であります。

暑さがつづきますと身体の調子がくるいがちで、夜ふかしなど睡眠不足は疲労がだんだんつものって来ますので充分栄養をとって体力を養いたいものです。

子供達にとっては楽しい夏休み、水に遊ぶ時間が多いので健康を害している時やおながすいている時、又疲れているときは泳いではあぶないのでお互いに充分注意して水の事故を防ぎ、明るく健康な夏をすごしましょう。

### 台風シーズンの注意!!

台風銀座と言われる南九州一帯も近年比較的その襲来もなく平穏に過ぎて来たようです。

「災難は忘れた頃にやってくる」台風九号接近の報に緊張の面持ちでしたが幸い一部を除いて、懸念された程も無く、大過なく過ぎたようです。例年台風は夏から秋にかけて襲って来ます。

### 台風

### そなえて万全を

るように心掛けましょう。愈々台風が近づきましたならばまずラジオ、テレビの気象通報をよく聞いて気象状況をよく知っておきましょう。そして警報が出た場合はこわれかかった戸戸やへいなどを補強するとともに家のまわりの排水をよくしておいて下さい。又夜など万一の避難にそなえて貴重品やローソク、懐中電灯、飲食糧品、救急薬などそなえておきましょう。

三股小プールにて

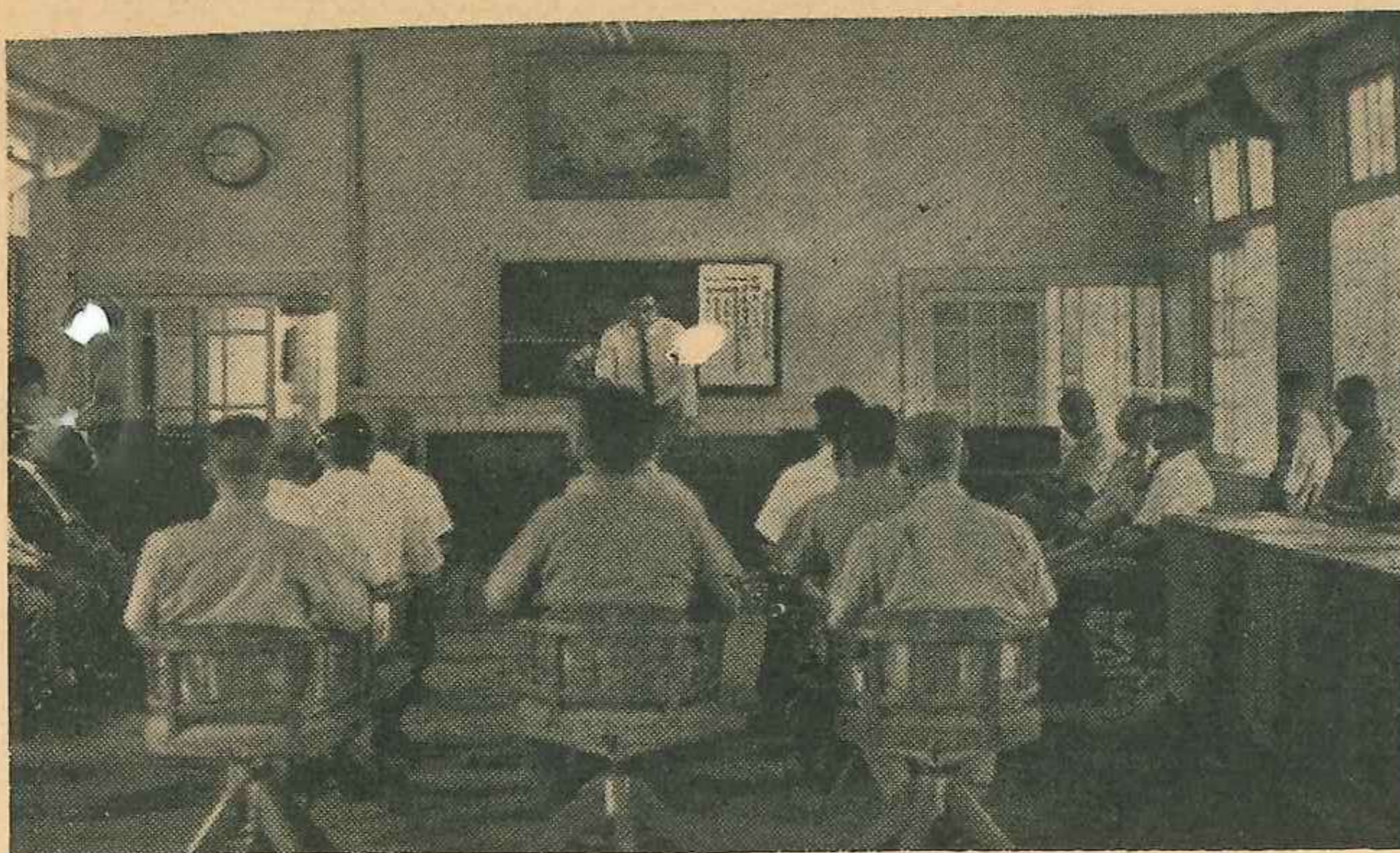


# 陣容なる 農業委員会

去る七月十五日農業委員の選挙が全国一斉に行なわれました。その結果本町におきましては十二名の方が私達農民の代表として当選され、その当選証書交付式は去る七月十七日行なわれました。今日において農業近代化は今更となるまでもなくすでに常識とされ、我が三股町においてはこれが即ち町是であります。

農村振興のために十二分に

当選証書交付式後  
激励を受ける委員



研究、審議されまして皆さんの全精力を傾倒して町政の発展に寄与して頂きたい」と町長、議長より激励の言葉を述べ、そして「農業経営の一八〇度の転換を要求されている時、私達は今日の農業を近代化の方向に全精力を集中して推進して行きたい」とその決意の程を語って頂きました。議会は推せん五名、農協理事より一名選任されました六名と計十八名の委員が今後三ヶ年間私達の代表者として画期的な農業構造改善事業にその活躍が期待されております。

- 第一回の委員会は去る七月二十三日開かれそれぞれ役割が次のとおり決定いたしました。
- |      |       |
|------|-------|
| 会長   | 大河内利雄 |
| 副会長  | 上水 肇  |
| 農政部長 | 柳橋 光保 |
| 副部長  | 別府 次夫 |
| 部会長  | 小牧 純尊 |
| 部会長  | 瀬尾 利雄 |
| 部会長  | 高橋 一男 |
| 部会長  | 中村 義隆 |
| 部会長  | 上石 重二 |
| 部会長  | 小林 久光 |
| 部会長  | 新森 国男 |
| 部会長  | 松山 重雄 |
| 部会長  | 上西 栄  |



三股を本拠に……道路整備に威力を発揮する  
グレーダー (450万円)

## グレーダー 郡内七ヶ町村 共同購入

年毎に増大して行く交通量と車輛の大型化が相まって道路面の損傷がはげしく、補修が追いつかぬ現象を来している状態が郡内各町村の悩みの種でありました。道路を整備することが産業経済の発展に密接に結びついているとの観点から各町村共同で道路整備に

威力をもつグレーダーを購入して問題を解決しようとしたところ、その結果この程四五〇万円で購入し、三股町にその管理協議会を設置してその運営がなされることになりました。

このグレーダーは郡内各町村でそれぞれ三日間づつ道路整備事業を行ない、そして次の町村へと回送されることになっております。

従って大体一ヶ月目に又廻ってくるようになります。その威力により今後の活躍が期待されております。

森 正一
川野 義治
宮里 正
高木 一男
河野 環

## 税務だより

ばかにならない

### たばこ消費税 年間四百万円

町の大きな財源の一つにたばこ消費税があります。このたばこ消費税は私達が毎日購入するたばこの売上金によって専売公社から納付される税金であります。したがってたばこ小売店の売上げが多ければ多い程、納付されるたばこ消費税は多くなるわけでありませぬ。

この税金は私達の手もたら直接納税されませぬので一般に関心が薄いようであ

りますが、その税率は百分の一・三・四で、つまり新生一個に対して五円三〇銭となります。

昭和三十七年度本町に納付された税額は三九〇万円でありましたが今年度は更に皆様方の協力による売上げの上昇と税率の引上げなどにより四〇〇万円程度が見込まれております。

町民の皆さん、たばこはみんな町内で求めるように心掛けましょう。

旅行などされる場合も町内で準備されることをおすすめいたします。

### 納税メモ

今月は、町民税、保険税第二期を納める月です。



たばこは町内で  
買いましょうよ

## 町政の伸展は 活発な討議から

町議会議員は私達の代表としてふだんから町政を見守ると同時に議会においては町の進むべき政策を熱心に研究討議して伸びゆく三股の建設に努力しております。

統一地方選挙後迎えた初の定例会、六月議会においては慎重な審議、活発な討議がなされました。

ここに六月議会の一般質疑応答の状況をお知らせしましょう。

### 議 会

議長 出席議員十八名で  
あります。  
定刻になり  
ましたので  
ただいまか

ら本日の会議を開きます直ちに一般質問に入りますが、配布いたしました通告順にさせていただきます。

○畜産センターの運営状況について



議会風景……その1……

積極、均衡政策の推進を

岩崎議員 経済課長に伺いたい。畜産センターの現状と将来の見通しはどうか。

経済課長 豚は肉豚一三〇頭、ランドレース十七頭、ヨーク、パーク十七頭、種豚四頭、計一六八頭である。鶏は幼雛二、四六〇羽・中雛一、八〇五羽・大雛六一〇羽・成鶏一、〇二七羽・計五、九〇二羽となっている。職員は主任一人に常備三人である。

経営のねらいは構造改善の主幹作物を伸ばすための補充作物として、養鶏を主体に土地を持たない者を対象として進める。今、町内で三万羽であるが昭和四十二年までに十萬羽に増羽の計画である。岩崎議員 見通しは分った次に指導面で農協と意思を統一して行くか、養鶏の育成事業はどうか。

経済課長 技術的未熟な者がいたことは御指摘の通りである。そこで対策としては技術者がなかなかいないので養鶏については松田君を指導に廻した。種豚は豚のばらばらで種付事業も困難となったが止めるわけに行かない。運搬が遅れるとの声があるがセンターに車はあるが運転手がいない関係である御了解願いたい。

佐沢(利)議員 町当局の御努力により養鶏の熱はともに増大している。同時に運営に関する仕事も増

大して行く。農業構造改善事業の一環として、そう言った場合現在の機構でやって行けるか、従来特別委員会を設置しておられたが私はこれに代るものとして、町内の経験者も入れた運営協議会を設置すれば生産者の声も運営面に反映できると考える。町長の考えを聞きたい。

町長 集団養鶏については往々疑問もあった。センターは当初共同経営の形で始めたが、いま町営で動物は借入金でやっている。

構造改善との関連で、土地の少ない者に対して重要な設置には同感である。意志にそうよう進めたい。

経済課長 県が農業構造改善事業の実施町村を対象に融資するのを、これを養鶏面に使って行きたい。廃鶏は経営を左右するに充分考えたい。卵の販売は都城地方は移入地域で北九州より高い。農協を通じて又は自身で販路を見出している。

今後生産者の組織の強化を図り、農協とともに解決したい。

上西議員 いまままでの質問で大体解った。只町長は楽観のお話のようにだったが、借入金の四〇〇万円は高金利である。これを低金利に借り代えられないものか、又毎日の運営状況の把握が難かしい。これでは損失を招く恐れがある。この対策について

町長 動物の現物を借入れた。当然資本的支出である。なるべく早く解決したい。経営の技術的な面についても充分研究してやる。

長友議員 早水競馬場に高校の実習地ができた。町民の利用度が畜産センターから高校実習地へ移行するものと考えられる。影響を考慮されたい。

町長 都島高校が着々仕事を進めている。生徒中心であるが本年度も二、九〇〇万の予算を計上している。高校全部がくることを期待している。

○河川対策について

岩崎議員 次に山田橋、鉄橋間の床固堰堤について本件は先に全協で説明もあった。建設省が立派な河川にしていることに皆感謝している。更に人の通れるような道ができる。と観光的にも良いと言っている。町長の考えを

町長 建設省の考えは水制工事ということである。建設省の工事も大半が済

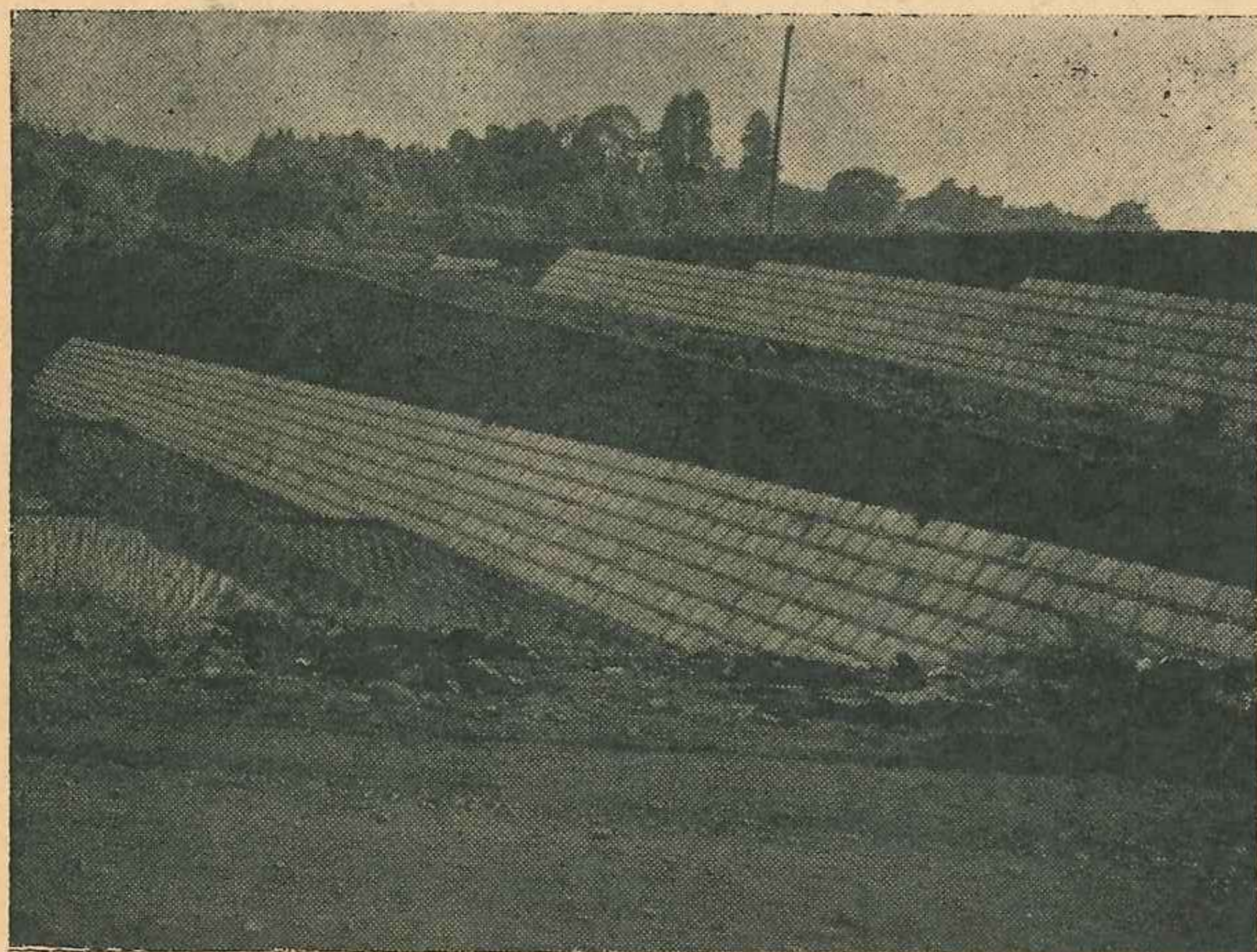
中野議員 私は事務改善と能率のことについて伺いたい。いま町をあげて農業の近代化、構造改善を打出しているが、町自体はどうか、役場の近代化は進んでいるか、土地改良も同じである。金が一向に借りられない。農協から借りて利子を払うこ

たので何とか継続してやって戴くように陳情の時期等研究中である。

○土地改良協会の運営について

佐沢(利)議員 土地改良協会の運営のこと伺いたい。今後町当局に於て推進される構造改善事業の土地盤整備は土地改良が主体となっている。知事が高城でも云われた様に最も重要な面である。そこでこれを推進する協会の充実と職員の待遇について考えておられるか。

町長 農業の近代化につれて土地改良事業がふたつので各地区のを統合することから協会は充足した。樺山以外は賦課金もよく入り大体よくいっている。職員は現在町の職員一名、常備二名、臨時四名であるが、強化については考える。待遇については、役場に準じてと考えているが、協会の財務内容を考えてやって行きたい。



災害復旧工事による

石寺区画整理地区農道

此の運営協議会の委員は私達被保険者を代表する委員と保険医の代表及び中立的な立場にある公益を代表す

この人達です 国民健康保険法に、保険事業の基本的な事項や財政に

母子年金受給者 (5名) 三股町では現在すでに五人の

農業メモ 普通水稲は出穂の二、三日

農業基盤

着々整備なる 農業用施設

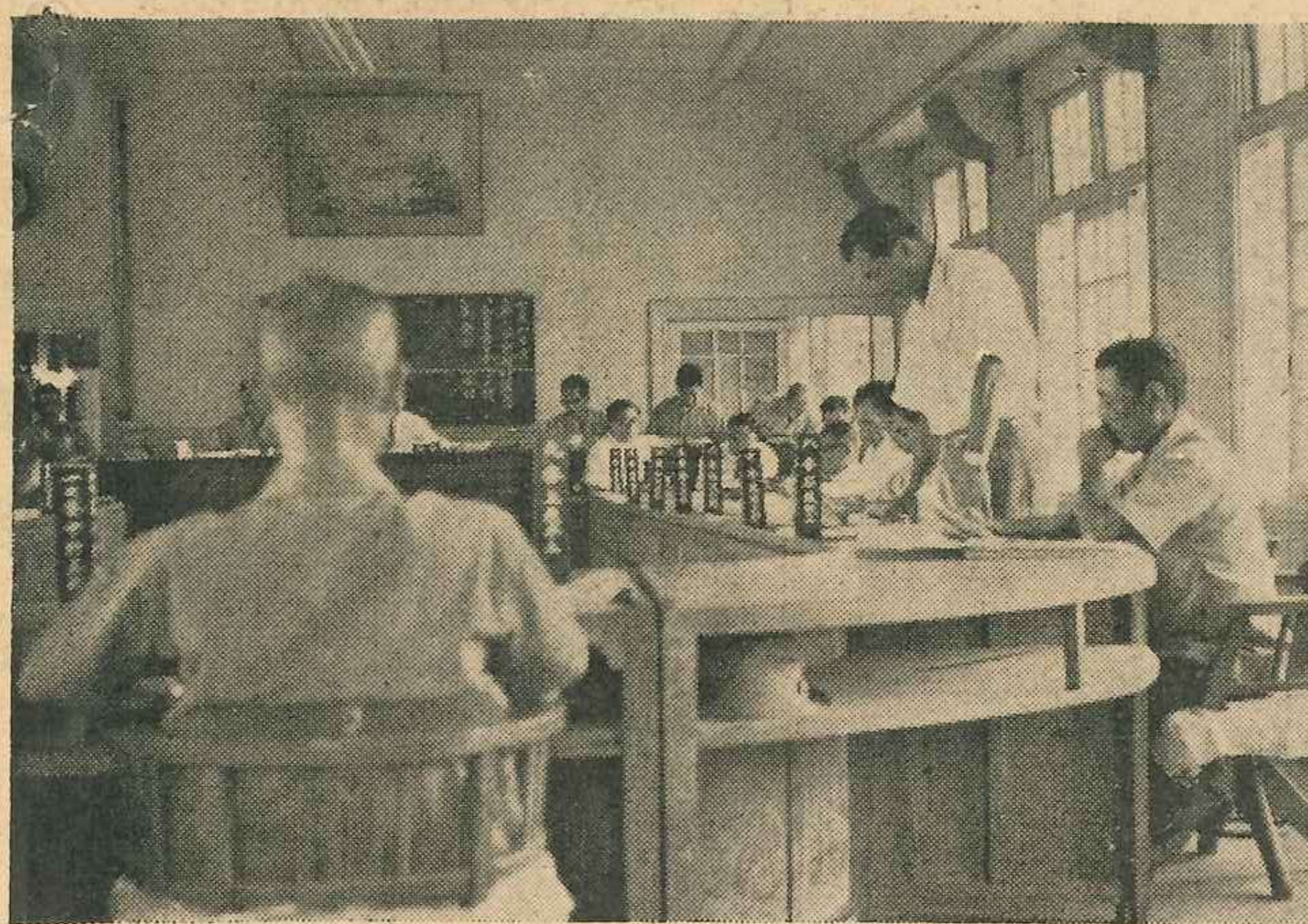
近年比較的大きな台風の襲来もなく農産物の増収がはかられ農家はひとしく喜んで

今十三地区について農林省の査定を受ける準備を進めて

夏と犯罪 夏は夜歩きが多くなります。それにつれて犯罪もふ

防犯で犯罪を防ごう 犯罪、不良化は悪い環境

母子年金証書の交付を受ける 永山、野崎さん



議会風景……その2……

人づくり、町づくりは積極的に

金さえあれば必要なだけいくらでもやれるがそうもいかな。今少し困

道路行政について 木田議員 先に町内の各道路

農地保全事業について 上原議員 私は農地保全

特別職の非常勤職員の報酬について 中野議員 特別職の職員

とになる。協会の事務は遅れ勝ちである。役場も旧態依然とした事務である

土地改良後の登記事務推進について 中野議員 盛んに町は農

教育行政について 木田議員 私は教育関係の予算の内容について町長

和議員 関連で伺いたい三股小の改築問題である

下水溝のことを感じた。砂利の入手が今後困難となる

流についても検討を加えているが、河川改修の個

### 育児手帳

## あなたの赤ちゃんの 発育はいかがですか

「這えば立て  
立てば歩めの親  
心」と言われて  
いるように我が  
子の発育は毎日  
の生活の光とな  
っていることし  
ょう。

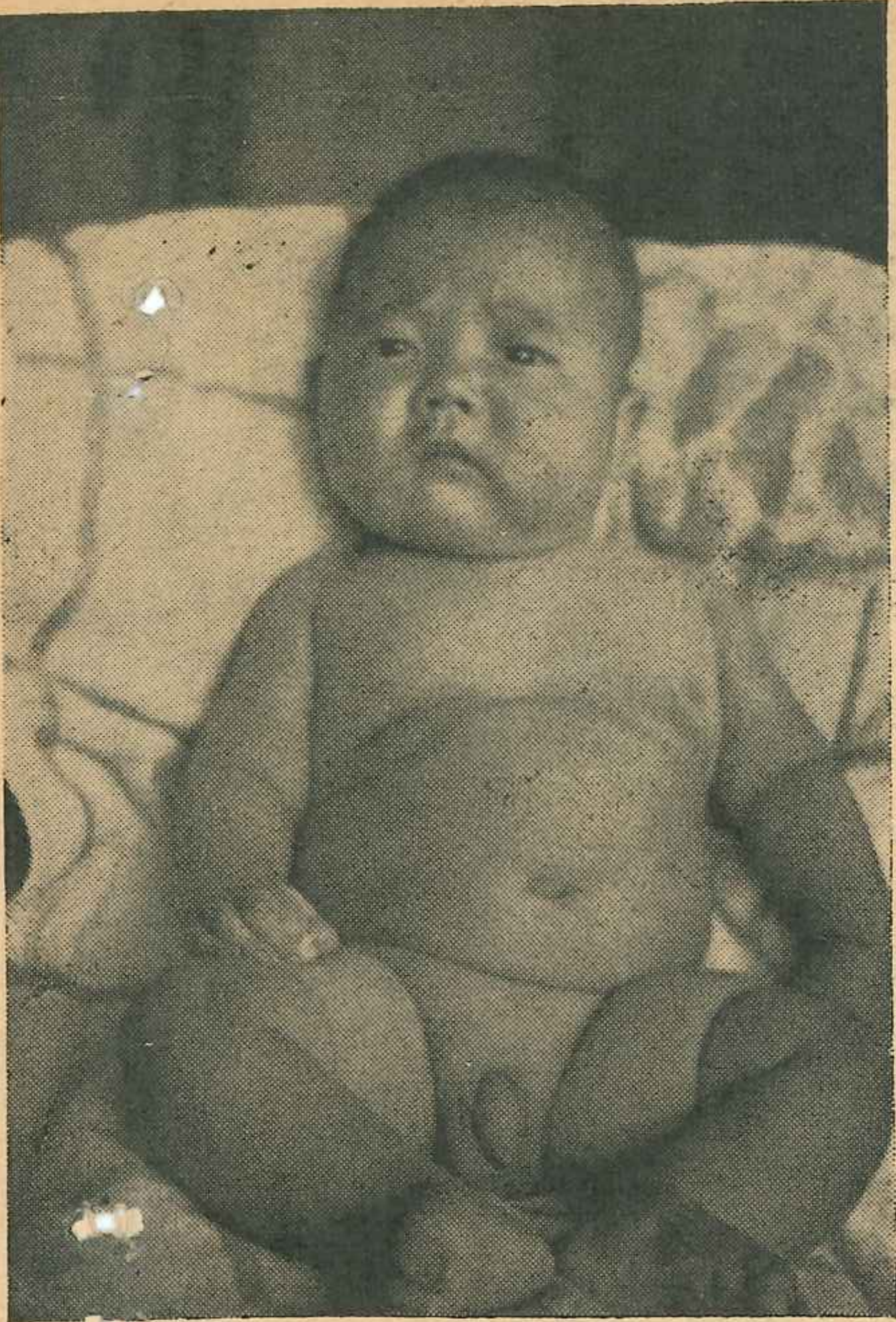
よその赤ちゃん  
とくらべて心配  
したり安心したり  
している方もあ  
ることでしょう。

赤ちゃんの発育、精神運動機能の発達の大  
体の基準が示し  
てありますが少  
しづらに心配はあ  
りません。

あまり差がある  
ようでしたら医  
師か役場の保健  
婦に相談するよ  
うに下さい。

一ヶ月 乳を飲むとき以外  
精神運動機能の発達

- 二ヶ月 一日の大部分は寝ている。音のする方を向く。
- 三ヶ月 はらばいで三〇秒ぐらい頭を持ち上げる。ほほえむ。意味のないことを言いはじめ。
- 四ヶ月 首がすわる。はらばいで頭と肩を上げる。物をつかむ。声を出して笑う。母のひざの上で足をはねる。
- 五ヶ月 手ののばして物をとる。うつぶせで頭を上げる。だくとよくはねる。
- 六ヶ月 寝がえりが出来る。
- 七ヶ月 お座りが出来る。人見知りをする。
- 八、九ヶ月 後えずって行



く。はい始める。下の前歯が生えはじめる。一〇ヶ月 つかまり立ちをする。

十一ヶ月 周囲の人の顔を覚える。動くものに興味をひかれ外に出たがる。

十二ヶ月 ひとり立ちをする。つたい歩きをする。父母を呼ぶ。人の名を覚える。歯が八本ぐらい生える。

一年三ヶ月 ひとり歩きをする。簡単な大人の言葉を理解する。

一年六ヶ月 さじをかなり上手に使う。しつけがよく行なわれていると大小便を予め告げる。遊んでいる他の子供のまねをする。

### 夏と衛生

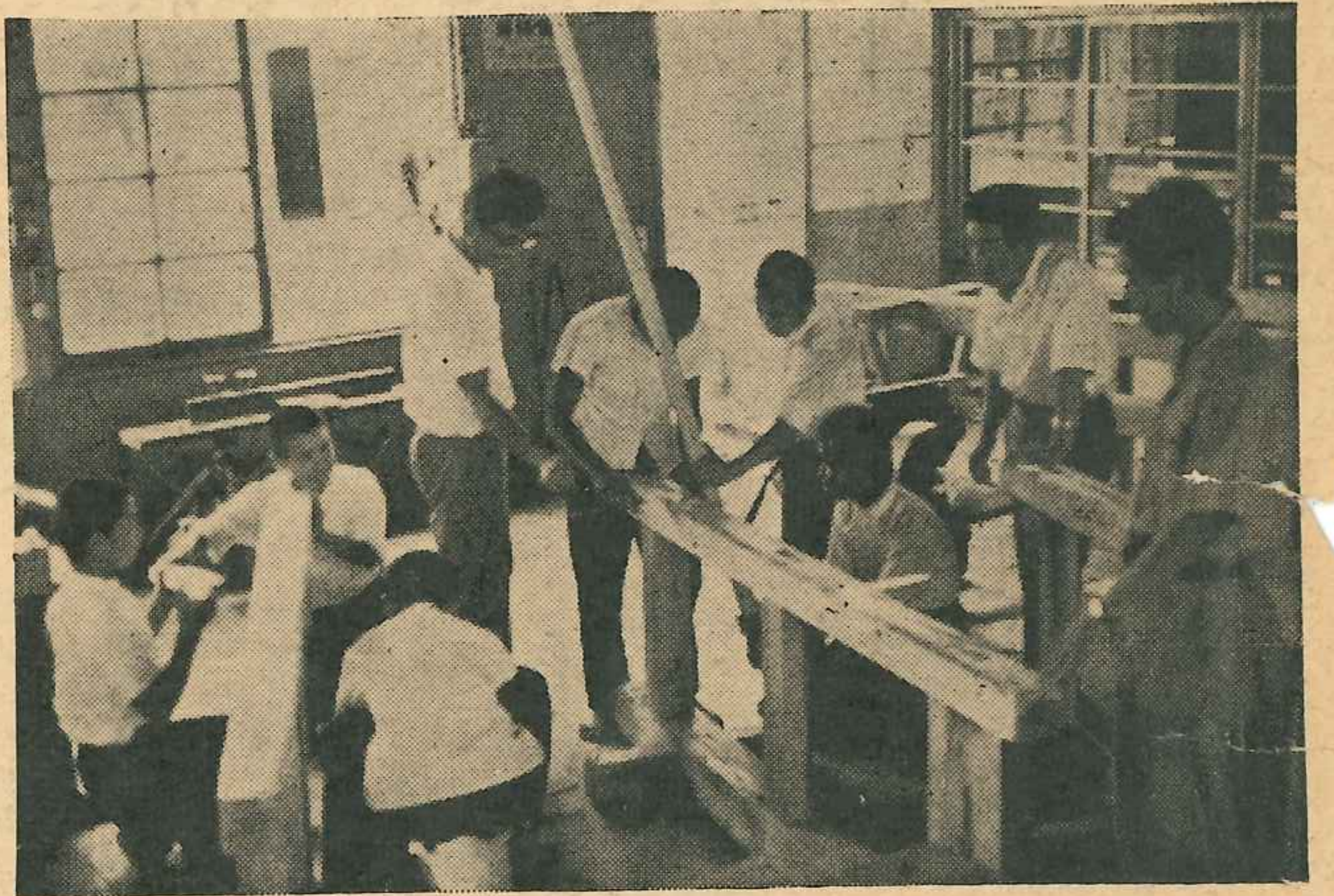
#### 食中毒にかからないように

今年には県下の食中毒が昨年の十一倍にも増加しております。

今後まだまだ暑さが続き、その上雨が多くなりますと食中毒、赤りの最も流行しやすい状態になりますので食衛生には充分注意してその発生を未然に防ぎましょう。

#### 食中毒、赤りの予防には

- 一、食前には必ず手を洗うこと。



「交通事故を防ごう」

防止柵の作成に余念のない三股中技術科生徒

### 児童の安全を守ろう

#### 校門に交通事故防止柵を

かねて皆さん方の可愛い子供さんから学校の門から道路に走って飛び出さないように交通事故防止の柵を作ってほしいと強い要望がありました。

町の交通安全協会では是非この要望にこたえなければならぬと色々協議しました結果、三股中学校に新

設された技術科の生徒に相談したところ、自分達の可愛い弟や妹のためならと心良く引き受け、学習のかたわら、交通事故を起すまい、起こさせまいと精魂を打ちこんで作業にとりくみ、この程一部完成して長田小学校に設置して非常に喜ばれ

- 二、過労をさけること。
- 三、直射日光をさけること
- 四、食物は出来るだけ煮るか焼くかして食べる
- 五、子供は腹当てをして寝冷をさせないこと。



ております。私達車を運転する者もこの中学校の技術科生徒の意を意として交通事故防止に一段と協力いたしましょう。

**忌明寄附**

ありがとうございます  
山王原の湯舟平吉さん、梶山の小牧ナオさんが亡くなられました。その忌明にあたって遺族の湯舟キクさん、小牧三男さんからそれぞれ三千円の寄附がありました。

御意志にそって町の社会福祉事業に役立てさして頂きます。

立秋の  
声を聞く  
とともに  
朝夕身を  
なでる涼  
風に、心  
なしか、かすかに秋の匂い  
を感じる今日此の頃です。  
さて「広報みまた」も第二  
号の発刊に至りましたが今  
回はさらに二頁のスペース  
をもって私達の代表が私達  
の町政を熱心に討議する町  
議会の模様をありのままに  
紹介いたしました。幾分  
でも意にそうものがあるな  
らば幸いです。思います。  
どうか今後も充実した広報  
紙に成長するように御支援  
の程をお願いいたします。